

進路ニュース

福島県立須賀川支援学校
進路指導部 第87号
令和7年9月30日（火）

職業相談会 令和7年7月17日

就労を希望する高等部の生徒及び保護者の方を対象に、今年度は「岩崎通信機株式会社」工場管理部部長の根本様より、会社概要を始めとし、卒業後の社会人生活を見据えた視点から、社会人になるということ、進路を考える上で大切なこと、会社を選ぶ基準など、多方面にわたった貴重なお話をして頂きました。その中でも、「社会人に求められる基礎力」という話の中で、前に踏み出す力・考え抜く力・チームで働く力の大切さについてお話し頂いたことは、今の学校生活の様々な場面で、児童生徒や私たち教員が意識しながら取り組める内容だと思いました。

また「県中地域障害者就業・生活支援センターふっとわーく」の方々からセンターの役割や利用方法について説明をして頂き、卒業後の支援体制についての情報を得ることができました。

会の後半では、3年生の個別相談会も実施し、ハローワークへの登録方法をはじめ、進路に向けてのアドバイスを受けるなど大変貴重な時間となりました。



進路希望調査結果報告

小・中・高等部校舎内の児童生徒を対象とし、4月に行った進路希望調査についてまとめましたので、ご報告します。

	就職		進学						福祉事業所				家庭での療育 （生活支援サービスの利用）	未定
	一般	障がい者 雇用枠	4 年 大 学	短 大	専 門 学 校	高 等 学 校	本 校 高 等 部	他 校 高 等 部	移 行 支 援	就 労 A	就 労 B	生 活 介 護		
高等部 1 年	4	2	2	0	1				0	0	0	0		2
高等部 2 年	2	2	1	3	0				1	0	1	0		1
高等部 3 年	1	5	0	0	2				1	0	2	1		1
小・中学部	3		5			2	9	1	4				1	7

※小・中学部については、中学部卒業後の進路も含め、複数回答を頂いています。

キャリアカウンセリングのご案内

9月22日

スタート!!

話にきてみませんか

にち じ まいしゅうげつようび

日 時: 毎 週 月 曜 日 15:00~16:00

ば しょ こうとうぶこうしゃ かい しんろしつ

場 所: 高等部校舎2階「進路室」

そうだんしゃ しんろしどうぶ きょういん

相 談 者: 進路指導部の 教 員

進路に関すること、なんでも話にきてください!!

『第13回特別支援学校作業技能大会～夢に向かってテクノチャレンジ2025～』

7月30日(水) ビッグパレットふくしま

本校からは、「ビルクリーニング部門」に4名、「喫茶接客サービス部門」に2名、「PCデータ入力部門」に3名、計9名の高等部生徒が出場しました。この大会へ出場を希望する生徒それぞれが自分でエントリーし、参加申し込みを行いました。そして、部門ごとに自分の目標を設定し、放課後や夏休みの時間に練習を重ねてきました。練習開始時の生徒の姿から大きく変化・成長し、大会当日を迎えることができました。

大会当日は、学校生活では感じることもない大きな緊張感の中、できる限りのパフォーマンスを発揮していました。生徒によって、納得のいく結果、悔しい結果と様々でしたが、それまでのプロセスと本番の頑張りに、心から拍手を送りたいと思います。この経験をまた明日の自分に生かしていきたいと思います。

【出場した生徒の感想】

緊張しました。先輩たちと一緒に練習できたおかげでレベルアップできました。感謝です！



本番は緊張で足が震えました。でも、やり終えた達成感がありました。練習から本番まで、楽しかったです。

練習を重ねるにつれて、頑張ってみようという気持ちになりました。出場できてよかったです。

【結果】

「ビルクリーニング部門」

テーブルクロス部 第2級 阿部雅美
ダスタークロス部 第2級 六坂悠聖
ダスタークロス部 第5級 野地斗真
モップがけ部 第2級 佐久間成月

「PCデータ入力部門」

第1級 阿部凌大
第2級 井川翔介
第5級 岩崎知佳

「喫茶接客サービス部門」

第2級 松井莉緒
第2級 小濃美咲

<審査員特別賞>

「ザ・モスト・コレクト・タイピング賞」
阿部凌大



職員 職場・施設見学会

8月21日(木)

職員が地域の職場や福祉サービス事業所等の様子を見学して理解を深め、日頃の授業や進路指導に活かすことを目的とし、郡山方面は福島トヨペット株式会社・ディーキャリア郡山オフィス・株式会社東日へ、須賀川方面は神田産業株式会社・らでいっしゅ・須賀川病院へ、県南方面は会田病院・こころん・株式会社TBKへと、3グループに分かれ職場・施設見学会を実施しました。

卒業生が働く職場の見学では、卒業生が落ち着いて、生き生きと働いている様子を見ることができ、担当者の方からは「期待に応えて働いてもらっている。」「採用して良かった。」との声もあり、本人の得手不得手を考慮した仕事の割り振りなど様々な面でご配慮をいただきながら働き、活躍している様子を知ることができました。

事業所では、利用者の自立(一人でできることを増やす)に向けて、できることに合わせて仕事を振り分けられていること、少しずつ時間を延ばしてフルタイムで働けるように段階を踏んでいること、長い期間継続して働いている方が多いことなどから、職員の方々のご指導やご支援の細やかさや丁寧さ(手順表の掲示や適材適所への采配など)を感じました。また、働くためには、過酷な労働環境(暑い中や立ち姿勢での作業など)でも耐えられる体力や自己体調管理がとても重要であり、日によって作業内容が変わるなど様々な状況に対応する力も必要だということを、職場や事業所の方の詳細な説明の中から感じました。

今回の見学で得たことを、生徒や保護者の方々と情報を共有し、日々の授業や生活指導、進路指導に生かせるようにしていきたいと思います。



< information >

今回の見学会ではその地域の事業所関連のお食事処を利用しましたので、ご紹介します。

○郡山方面: CAFE sweet hot (就労継続支援 A 型)

○須賀川方面: こびぎ

(就労継続支援 B 型 須賀川市役所 1F)

○県南方面: 直売カフェこころや

(就労継続支援 B 型・就労移行支援・就労定着支援 泉崎村)

